

清水港からの農産物の輸出促進 ～連携計画の策定～

静岡県交通基盤部港湾局



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡県交通基盤部



取組の背景



令和2年3月31日「食料・農業・農村基本計画」閣議決定

【政府目標】 2030年農林水産物・食品の輸出額 5兆円

令和3年度



- ・農林水産省及び国土交通省は、産地と港湾が連携した農産物輸出に取り組む 民間事業者への補助制度を創設
- ・補助要件として、港湾管理者等が産地・港湾連携型農林水産物・食品輸出促進計画「連携計画」を策定し、国の認定を受けることが必要

令和3年8月



- ・県は、JA、卸売事業者、港湾物流事業者等と協議会を組織し、「連携計画」を策定
- ・本県「連携計画」は、全国で初めて令和3年8月24日に国認定
- ・清水港は、全国初の「特定農林水産物・食品輸出促進港湾(産直港湾)」として、国の制度を活用して、輸出促進に取り組む



認定書授与式(令和3年9月2日)

連携計画の概要(目指す姿)



<「連携計画」における輸出ルート>



課題

静岡市中央卸売市場と袖師埠頭でコールドチェーンが途切れることが判明
→ **品質保持に必要となるコールドチェーンの確保**

計画実現に向けた取組(①コールドチェーンの構築)



国からの支援を受け、(1)温度・衛生管理が可能な荷さばき施設及び(2)リーファーコンテナ電源供給施設を整備し、コールドチェーンを確保

(1) 静岡市中央卸売市場冷蔵倉庫へのドックシェルターの整備(事業主体:静岡VF(株))

令和4年5月完成



【整備前】



使用イメージ



【整備後】



トラックに積載した冷蔵コンテナの後部扉を開けて搬出口に密着させた後、倉庫内シャッターを開放して商品積載することで機密性を確保する、密閉型入出庫装置(ドックシェルター)を整備

(2) 袖師埠頭 ROROターミナルへのリーファープラグ整備(事業主体:県)



袖師埠頭に蔵置する冷蔵冷凍コンテナへ電源を供給するリーファープラグを整備

令和4年6月完成



試験概要

様々な農産物を混載したコンテナを、清水港に一定期間蔵置後、品質、食味等を検査

・実施者：国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所

【輸送日数は以下の3ケースを想定】

・実施時期：令和3年11月～12月・令和4年1月～2月

①10日間：通関手続き3日+7日

台湾・香港

②20日間：通関手続き3日+17日

シンガポール・マレーシア

③30日間：②に加えて、コンテナ船の遅れ10日

10日後、20日後、30日後に品質検査を行い、輸送日数による鮮度を検証

対象品目 (約20品目)

【静岡県産】レタス、小松菜、みかん、いちご、メロン、柿、トマト等
【他県(山梨県・長野県等)産】白ネギ、りんご、ぶどう等

試験結果

船便によるコンテナ輸送でも、ほとんどの品目で品質が保たれ、販売可能

- 20日経過後の可販率は100%、30日経過後も90%以上
- いちごは30日経過後のスコアが低く、長期輸送に課題あり
- 20日経過後は、約3割の品目で品質の変化があったが、販売に問題はない状態

5

計画の目標実現に向けて輸出を開始

ドックシェルターを利用した初めての輸出を開始

【7/22 静岡市中央卸売市場に集荷し、清水港から香港へ輸出】

・品目：山梨県産の桃、静岡県、長野県産の葉物野菜 ・輸出者：JA全農インターナショナル



令和4年度も山梨県、長野県等に向けて、地理的優位性のある清水港からの農産物輸出をPR

- ・清水港富士山静岡空港セミナー(甲府市)
- ・清水港利活用説明会(佐久市ほか)

今後も計画の目標輸出額実現に向けて、農産物の輸出を促進

青果物目標輸出額
R8年に
4,000万円/年

R2実績：250万円
(市場経由の輸出)

6